

# いなくなったら…まず家族は

## いなくなったら→すぐに警察へ相談 (近くの警察署や110番)

### ① ためらわず警察に相談・連絡を!

警察署、お近くの交番へ連絡する。また市町村の徘徊・見守りSOSネットワークにも連絡する。

### ② 何を伝えたら良いですか?

氏名、性別や年齢、特徴、現在の状態(いなくなった時の様子、服装など)、よく行きそうなところ、車で出かけた場合には車のナンバーなど、出来るだけ詳しい情報が必要です。

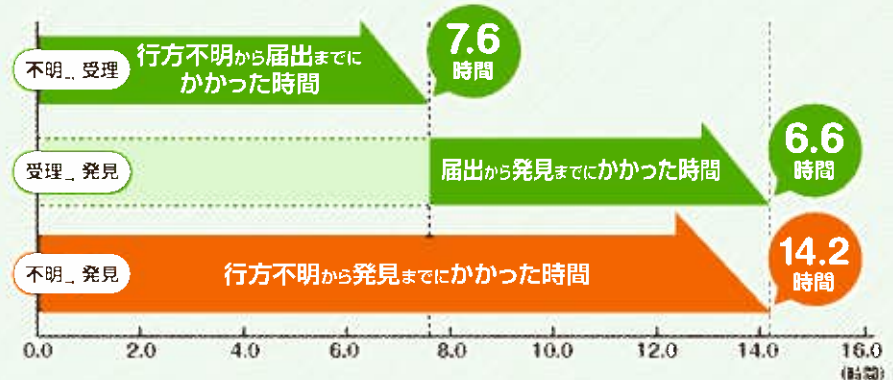
### ③ いなくなる直前の本人の様子を思い出しましょう。

### ④ よく歩くルートや立ち寄り先などをまず確認しましょう。



一刻も早い届出で、早く無事に発見されやすくなります!

## 発見までにかかった時間 早めの届出が早期発見につながります。



警察への届出に必要なものとして、本人の写真、届出人の印鑑そして本人の特徴を前もって用意しておきましょう。

# 家族以外の協力

## もし、道に迷っていると思われる高齢者を見かけたら…

### 勇気を持って声をかけましょう!!

道に迷うと、誰でも不安や恐れがあるものです。まず、ゆっくり、笑顔であいさつしてから本人の困りごとを確認し、ご自宅へ安心して帰れるようにすることを伝えましょう。



## 声かけのポイント

- ① 本人を驚かせないように、ゆっくり斜め前から近づく。(後ろからいきなり声をかけない)
- ② 高齢になると高い声や早口は聞き取りにくくなります。低めの声でゆっくりと。
- ③ あなたも自己紹介すると相手も安心。
- ④ 危ないからと、無理やりは厳禁。ゆっくりと説得し、安全な場所へ案内を。
- ⑤ 長時間歩いて脱水の危険も! 飲み物をすすめてみましょう。



笑顔で優しく  
声をかけてね

# 認知症による 行方不明への備え

認知症の人が安心して外出できるまちをめざして





## ご家族へのメッセージ

認知症の方は、昔馴染みの場所などに行こうとして、外出し、そのまま場所が分からなくなり、行方不明になってしまうことがあります。認知症の方はその程度にかかわらず、誰でも道に迷ったり行方不明になる危険性があり、死亡に至るケースもあります。普段から、そのための準備をしておきましょう。万が一、行方不明になってしまったら、すぐに警察などへ届け出ることが最も大切なことです。

愛知県では認知症高齢者等の行方不明による死亡ゼロをめざしています

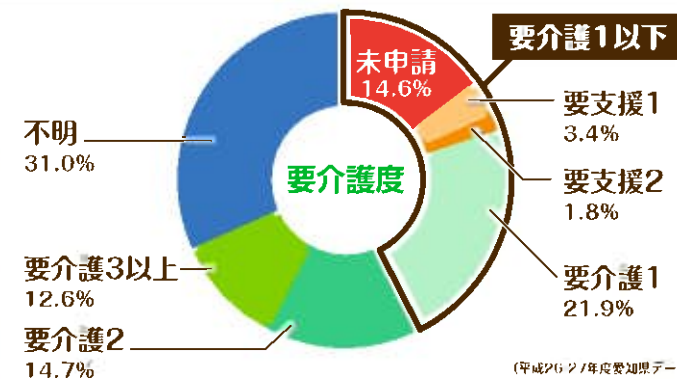
## 道に迷う認知症の方の気持ち

### なぜ認知症の早期でもいなくなってしまうのか？

若い頃に住んでいた場所や勤めていた会社など、昔馴染みの場所や昔の生活習慣を思い出して、そこへ行ってみたいという希望が多く、認知症の早期でも行方不明になってしまいます。

### 介護度のレベルが進むと行方不明になりやすいのか？

行方不明となる方は要介護1以下の軽度なレベルの方が多く、また未申請の方も多いためです。



### 予兆としてどんな事があるか？

- 家で落ち着きがなく、歩き回ったり、何かを繰り返すような動きがある。
- 過去に行方不明になったことがあった。
- 家にも「帰宅」しようとしていた。
- いつもの散歩や外出からの帰りが遅くなっている。

### なぜ歩き続けて遠くまで行ってしまふのか？

認知症の方は、なんらかの理由で外出するのですが、歩いているうちに、目的を探し続けたり、目的地そのものを忘れていたり、いつまでも歩き続け、知らず知らずのうちに遠くまで行ってしまふのです。



**男性(70歳)の事例** 病院に出かけると妻に言って出かけた。履き物を履かずに家から出て、2日後に一般人が発見し、警察に通報。無事保護されましたが、約13キロも歩いたことが判明しました。

## 家族の備え

### 見守りネットワークに事前に登録しておきましょう

皆さんの住んでいる市町村には、帰れなくなったり、行方不明になった時に探してくれる地域ネットワークが組織されています。詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。事前登録には、お名前や住所、そして写真が必要な場合もあります。ネットワークに登録している場合はそうでない場合に比べ、捜索の時間が大幅に短くなっています。

### 見守りネットワークの利用と発見時間

見守りネットワーク利用群は15.8時間、未利用群は43.0時間と大きな開きがあり、見守りネットワークを利用している方が早期発見の可能性が高いといえます。

### 見守りネットワークの利用別の行方不明から発見までの平均時間



(平成26年度愛知県データ)

### 身近な人に事情を前もって伝えておくことが大切です

行方不明になる前に、以下のような出来ることがあります。

- 1 よく持って出かける物を覚えておく**  
杖やシルバーカー、エプロンなど外出時によく持って行く物、好んで履く靴などを覚えておきましょう。
- 2 名前や連絡先を衣類や持ち物に書いておく**  
あまり外から目立たないような部位(例えばポケットの内側)に名前や連絡先を書いておくとういでしょう。
- 3 本人と分かる写真を用意しておく**  
顔写真や普段の姿など、最近の写真を用意し、近所の商店、スーパーなどに見守りや声かけをお願いしておきましょう。
- 4 便利な機器を利用する**  
外出を感知したり、電波を利用して居場所を特定しやすくする機器(GPS)があります。お住まいの市町村にお問い合わせください。